

Casting Our Eyes
on the Future

視線はまっすぐ未来へ



Financial Report

第89期中間報告書

平成21年4月1日～平成21年9月30日



Ahresty

株式会社 アーレスティ

証券コード：5852



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

タグライン「Casting Our Eyes on the Future」は、その社名に込められた企業理念を実現すべく、アーレスティで働く者すべての視線が、常にお客様、地球環境、そしてアーレスティ自身の未来へ向けられ、Research(研究・開発)、Service(サービス)、Technology(技術)において常に主導的リーダーに立ち前進しようという企業姿勢を具現化したものです。

なお、「Casting」は、「投げかける」という意味の他に、当社の主要事業である「Die Casting」の意味も込めています。

タグライン：タグラインは、アーレスティブランド、企業理念を社内外へ発信する究極的なメッセージであり、コーポレートシンボルとセットで使われる言葉です。

(a:resti)

これからは、より質の高い
Research, Service, Technologyを
追求していきます。

アーレスティはR・S・T、Research、Service、
Technologyこれらの三つの言葉の統合ですが、
Rは単に研究・開発だけでなく、
どうしたらもっとお客様のお役にたてるかの創意と探求、
Sは製品の品質やアフターサービスだけでなく、
お客様とのすべての接点で、
そしてTはこのRとSをささえる知識と
技術を考えています。
この社名に込められた企業理念を大切に生かし、
様々な製品を通して、
広く社会のお役に立ちたいと願っております。

CONTENTS

株主の皆様へ	2
経営基本方針	3
コンプライアンス基本方針	4
環境方針	4
事業の概況	5
事業別の概況	6
四半期連結財務諸表	7～8
トピックス	9
株式情報・会社の概要	10

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに、第89期第2四半期(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)の事業の概要につきまして、ご報告いたします。

今後とも事業の発展に全力を尽くしてまいりたい所存です。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申しあげます。

平成21年12月



代表取締役社長

高橋 新

経営
基本方針

常に生きいきと活動し理論と実験と創意と工夫を尊重して、
品質のすぐれた製品と行き届いたサービスを提供しよう

(1) 経営の基本方針

当社の社名アーレスティは、ResearchのR、ServiceのS、TechnologyのTを続けて読んだものであります。Researchとは絶えることのない新技術・新市場・新しい販売方法の開発・研究調査、Serviceとは人と人とのふれあいのなかで本当に行き届いた温かいサービス、Technologyとは世の中に役立つ真によいものをハードとソフトも含めて創ってゆく技術を意味します。このRとSとTは、お互いに深く支え合いながら、お互いをよりすばらしいものへと磨きあっていくという有機的な関係にあります。私たちは、このような考えのもとにResearch、Service、Technologyを統合した思想を企業理念として「アーレスティ」を社名としております。

当社の長期的な経営の方向性を示した「アーレスティ10年ビジョン」では「『すべてのステークホルダーから信頼されるグローバルトップ企業』をめざす」ことを基本の方針とし、顧客・株主/投資家・従業員・取引先・社会の5つの利害関係者の視点に立って「信頼される企業」となるためにはどうすべきかという観点であるべき姿を描き、具体的な指針・手段として方針を定めております。この10年ビジョンをベースに中期経営方針（0810 3ヵ年アーレスティ方針を昨年の米国に端を発した金融危機以降の厳しい経営環境下における勝ち残り、来るべき需要回復期に向けた体質改革を中心とした0910 2ヵ年アーレスティ方針として見直しています。）では、より具体的な施策・目標値を設定し、更に部門方針へと展開して全社的な活動を推進しております。

(2) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、株主をはじめとする全てのステークホルダーに対する経営責任と説明責任を明確にするとともに、高い透明性を伴った経営体制を確立することで、当社グループ全体での収益力の拡大と企業価値の増大を目指しております。さらには内部統制システムとリスク管理体制を充実させ、グループ

子会社の事業活動についても管理・監督を行う経営システムの構築を図ることをコーポレート・ガバナンスの基本的な方針と考え、重要な経営課題であると認識しております。

コンプライアンス基本方針

株式会社アーレスティは、コンプライアンスの基準として、この基本方針を制定し役員および従業員は、自らの行動または業務遂行のための行動において、これを遵守します。

- 1 私たちは、全てのお客様の満足・信頼を旨とし、品質や安全性に配慮して、優れた製品と行き届いたサービスの提供をします。
- 2 私たちは、お客様の安心・信頼を念頭に置き、あらゆる法令を遵守し、高い倫理観と責任感を持って行動をします。
- 3 私たちは、公正で透明な取引関係を構築し、健全な事業を行います。
- 4 私たちは、継続的な企業価値の増大を追求し、魅力ある企業を目指します。
- 5 私たちは、お互いに人格・価値観を尊重し、健康かつ安全な職場環境を目指します。
- 6 私たちは、会社財産を保護し、適正に取り扱います。
- 7 私たちは、全ての利害関係者から不信を招くことがないように、健全かつ正常な関係を維持・確立します。
- 8 私たちは、地球環境への配慮を会社の重点課題として認識し、環境保全に向けて自主的かつ積極的に行動します。
- 9 私たちは、グローバルな視野を持って、地域の文化や習慣を尊重し、社会への貢献に向けて行動します。
- 10 私たちは、企業市民として広く社会とのコミュニケーションを行い、地域の発展と快適で安全な生活のための活動に協力し、地域社会との共生を目指します。

環境方針

かけがえのない地球を守るのには私たちの大切な役割です。株式会社アーレスティの環境への取組みをご紹介します。

- 1 私たちは私たちの開発、生産、販売、廃棄の活動が地域環境と深く関連し影響を与えていることを明確にとらえ、環境目的・目標・実施計画を定め、それらを必要に応じて見直し、環境保全活動の継続的な改善をはかります。
- 2 私たちは国・地方公共団体・利害関係者などの環境規制、規則、協定などの要求事項を順守し、さらに技術的・経済的に可能な範囲で自主基準を定め、一層の環境保全に取組みます。
- 3 私たちは特に次の事項について優先的に活動し、環境保全と汚染予防に取組みます。
 - ①大気汚染、水質汚濁に関する施設・工程の管理・改善を徹底します。
 - ②廃棄物の再資源化100%を維持します。
 - ③廃棄物総排出量の減量、アルミリサイクル事業の拡大を推進し、循環型社会へ貢献します。
 - ④CO₂排出の抑制をはかり、地球温暖化防止への配慮をします。
 - ⑤環境に配慮した製品および商品の開発・設計に取組みます。
- 4 私たちは従業員一人ひとりの環境保護意識の向上をはかるため、教育・啓蒙活動を継続的に行います。
- 5 私たちは良き企業市民として、地域社会の環境保全に努め、地域との共生をはかります。

～私たちはこの環境方針を社内外を問わずに公表いたします～

事業の概況

■企業集団の事業の経過および成果

当第2四半期連結累計期間(6ヵ月)におけるわが国経済は、内外の在庫調整の進展や海外経済の持ち直しを背景とした輸出や鉱工業生産の増加から緩やかな回復基調を示しました。一方で雇用に関しては一段と厳しさを増し、失業率は過去最悪となり悪化が続いています。個人消費は雇用・所得環境が一段と厳しい状況に向かう中、エコカー減税等の政策効果から持ち直しの兆しが伺えます。企業収益については、悪化の歯止めはかかりつつありますが、低水準に推移しました。この影響により設備投資は減少傾向が続いています。

海外においては、米国では昨年の金融危機以降、景気の後退が続いておりましたが、第1四半期において大きく減少幅を縮小し、当第2四半期においても政府の景気対策等により、引き続き持ち直しの傾向を示しております。中国では政府の景気刺激策等の効果により内需を中心に回復してきており、設備投資も増加傾向を示しております。

このような環境の中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高32,346百万円(前年同期比46.8%減)、営業損失1,376百万円(前年同期は営業利益402百万円)、経常損失1,426百万円(前年同期は経常利益889百万円)、四半期純損失1,312百万円(前年同期は四半期純利益636百万円)と減収減益になりました。

なお、平成21年5月14日付けの決算短信の中で当期の中間配当を見送らせていただく予定である旨を公表させていただいておりましたが、平成21年11月9日開催の取締役会におきまして、中間配当につきまして慎重に検討いたしました結果、誠に遺憾ながら見送らせていただくことを決議いたしました。株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

■事業別売上の状況

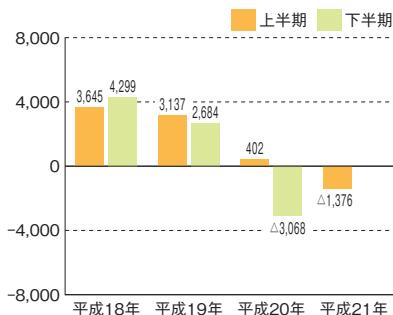


ダイカスト	30,547百万円
アルミニウム	1,088百万円
完成品	711百万円

■業績の推移 (連結)

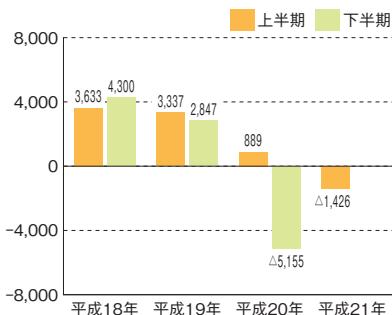
■営業利益

(単位:百万円)



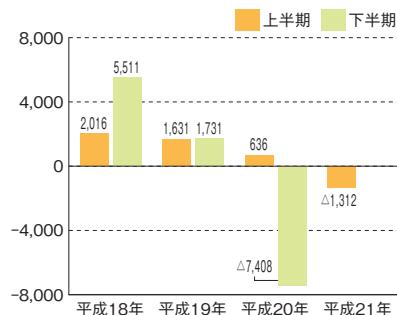
■経常利益

(単位:百万円)



■四半期純利益

(単位:百万円)

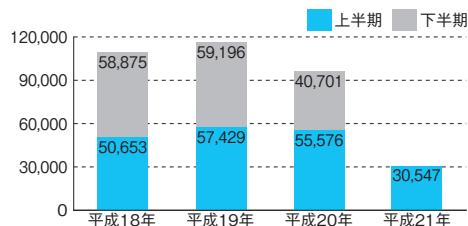


事業別の概況

ダイカスト事業

ダイカスト事業におきましては、個人消費の回復が遅れる中で、エコカー減税等の政策効果による景気持ち直しの影響や、米国政府の景気対策等による消費の持ち直しもあり、主要顧客である自動車メーカーの在庫調整終了による生産の回復傾向は見られるものの、経済危機により需要は依然低水準で推移しました。この結果、売上高は30,547百万円(前年同期比45.0%減)となりました。収益面においては、受注量に見合った人員体制への見直し、原価低減活動、販売管理費の削減などを行いましたが、受注減少による収益性悪化の影響が大きく、営業損失は1,260百万円(前年同期は営業利益199百万円)となりました。

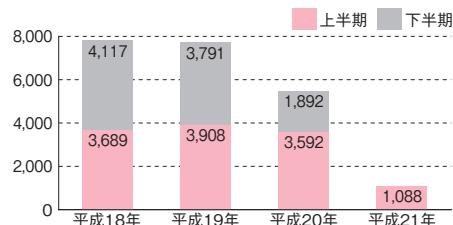
■売上高(連結) (単位:百万円)



アルミニウム事業

アルミニウム事業におきましては、ダイカスト用・鋳物用共に二次合金地金の出荷量が振るわず前年同期比で40%減となり、さらに地金相場下落に伴う販売価格低下が影響し、売上高は1,088百万円(前年同期比69.7%減)となりました。収益面においては、勤務体制変更や労務費削減等による製造原価低減を図りましたが、販売低迷により収益を確保することが出来ず、営業損失は82百万円(前年同期は営業利益142百万円)となりました。

■売上高(連結) (単位:百万円)



完成品事業

完成品事業におきましては、前年度から延期となっている半導体関連での設備投資の動きが依然として低調であることが大きく影響し、売上高は711百万円(前年同期比55.6%減)となりました。収益面においては、販売経費の削減に努めましたが、売上高減少の影響が大きく、営業損失は34百万円(前年同期は営業利益53百万円)となりました。

■売上高(連結) (単位:百万円)



四半期連結財務諸表

Consolidated Quarterly Financial Statements

■ 四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 平成21年9月30日現在	前期末 平成21年3月31日現在	科 目	当第2四半期末 平成21年9月30日現在	前期末 平成21年3月31日現在
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	29,361	33,391	流 動 負 債	24,930	28,132
現 金 及 び 預 金	6,781	7,444	支 払 手 形 及 び 買 掛 金	10,474	13,161
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	15,011	17,118	短 期 借 入 金	2,373	2,219
商 品 及 び 製 品	1,452	1,575	1 年 内 返 済 予 定 の 長 期 借 入 金	5,854	5,574
仕 掛 品	2,367	3,080	未 払 法 人 税 等	63	211
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	2,048	1,965	賞 与 引 当 金	911	907
そ の 他	1,706	2,212	役 員 賞 与 引 当 金	0	2
貸 倒 引 当 金	△ 5	△ 6	そ の 他	5,251	6,055
			固 定 負 債	24,783	24,253
固 定 資 産	54,142	53,169	長 期 借 入 金	17,397	16,934
有 形 固 定 資 産	47,211	47,238	退 職 給 付 引 当 金	3,373	3,281
建 物 及 び 構 築 物（純額）	10,072	9,660	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金	161	161
機 械 装 置 及 び 運 搬 具（純額）	19,752	20,150	負 の の れ ん	293	444
土 地	5,959	5,951	そ の 他	3,557	3,430
建 設 仮 勘 定	7,884	7,692	負 債 合 計	49,713	52,385
そ の 他（純額）	3,543	3,783	純 資 産 の 部		
無 形 固 定 資 産	741	830	株 主 資 本	35,569	36,882
の れ ん	70	138	資 本 金	5,117	5,117
そ の 他	670	692	資 本 剰 余 金	8,363	8,363
投 資 そ の 他 の 資 産	6,189	5,100	利 益 剰 余 金	22,445	23,758
投 資 有 価 証 券	5,621	4,531	自 己 株 式	△ 357	△ 357
そ の 他	575	577	評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 1,847	△ 2,765
貸 倒 引 当 金	△ 8	△ 8	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,475	954
			為 替 換 算 調 整 勘 定	△ 3,323	△ 3,720
			新 株 予 約 権	67	58
資 産 合 計	83,503	86,560	純 資 産 合 計	33,789	34,175
			負 債 純 資 産 合 計	83,503	86,560

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前第2四半期累計 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
売上高	32,346	60,770
売上原価	29,820	55,289
売上総利益	2,526	5,480
販売費及び一般管理費	3,902	5,078
営業利益又は営業損失(△)	△ 1,376	402
営業外収益	289	642
受取利息	6	12
受取配当金	36	68
負のれん償却額	151	228
為替差益	-	179
その他	95	153
営業外費用	339	155
支払利息	234	126
為替差損	62	-
その他	41	29
経常利益又は経常損失(△)	△ 1,426	889
特別利益	2	112
固定資産売却益	0	4
貸倒引当金戻入額	2	-
関係会社清算益	-	100
その他	-	6
特別損失	74	70
固定資産除売却損	46	70
損害賠償金	26	-
その他	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△ 1,497	931
法人税、住民税及び事業税	60	703
法人税等調整額	△ 245	△ 409
法人税等合計	△ 185	294
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 1,312	636

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期累計 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	前第2四半期累計 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,557	6,699
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,185	△ 8,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	909	3,711
現金及び現金同等物に係る換算差額	73	△ 70
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 643	2,010
現金及び現金同等物の期首残高	7,274	3,877
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,631	5,887

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

広州阿雷斯提汽车配件有限公司 第2工場建設

当社子会社である広州阿雷斯提汽车配件有限公司（広州アーレスティ）は、自動車メーカーならびに自動車部品メーカーの中国進出とその生産量の拡大に伴うダイカスト需要の増大を受け、工場建屋の増築および設備の拡充を進めてまいりましたが、現行の敷地が建築限度一杯となったため、新たに近隣の用地を確保し、第2工場を建設いたしました。これにより広州アーレスティは、国内主要工場に匹敵するダイカスト生産拠点となります。今後、中国での新規顧客獲得および中国国内の自動車需要の増加による自動車生産の拡大により、日本国内の生産拠点とならび収益の柱となるべく成長してまいります。また、これに伴い広州アーレスティの同敷地内にある阿雷斯提精密模具（広州）有限公司（ダイカスト金型製造）も同地区内に移転いたします。

現工場の概要

所在地 中国 広東省広州経済技術開発区永和経済区

敷地面積 43,000㎡ 建物面積 24,428㎡

設備	ダイカストマシン	2500トン	4台
		1650トン	2台
		800トン	6台
		650トン	5台
	計		17台

増設計画	ダイカストマシン	800トン	3台	(2010年3月まで国内より移設予定)
		2250トン	1台	(2010年中 国内より移設予定)
		1650トン	1台	(2010年中 国内より移設予定)
		800トン	1台	(2010年中 国内より移設予定)



広州アーレスティ現工場

第2工場の概要

所在地 中国 広東省広州経済技術開発区永和経済区

(広州アーレスティから車で10分程度の同工業団地内)

敷地面積 17,691㎡ 建物面積 6,193㎡

投資額（土地・建物） 約3億2千万円

生産範囲 ダイカスト製品の機械加工

生産開始予定 2009年11月



広州アーレスティ 第2工場完成予想図

株式情報・会社の概要

Stock Information・Corporate Information

■株式状況 (平成21年9月30日現在)

●株式数および株主数

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	21,778,220株
株主数	4,229名

■大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)
高橋 新	915,021
(株)三菱東京UFJ銀行	765,955
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	760,100
本田技研工業(株)	672,755
日本軽金属(株)	657,392
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	646,055
ザバンクオブニューヨークジャスティックノントリーティーアカウント	589,300
スズキ(株)	565,767
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	562,500
(株)みずほコーポレート銀行	544,375

■会社概要 (平成21年9月30日現在)

商号	株式会社 アーレスティ
設立	昭和18年11月2日
資本金	51億1,759万円
従業員数(単独)	997名
企業集団の従業員の状況	
	従業員数
ダイカスト事業	3,770名
アルミニウム事業	51名
完成品事業	33名
全社(共通)	211名
計	4,065名

取締役および監査役 (平成21年9月30日現在)

代表取締役社長	高橋	新
取締役	小木	旭
取締役	林	禎一
取締役	古屋	茂
社外取締役	宮内	忠一
常勤監査役	熊木	勉
常勤監査役	見目	康夫
社外監査役	早乙女	唯夫
社外監査役	志藤	昭彦

■事業拠点一覧 (平成21年9月30日現在)

当社本社・工場		
名称	所在地	
本社	〒164-0011	東京都中野区中央1-38-1
東松山工場	〒335-0812	埼玉県比企郡滑川町大字都25-27
熊谷工場	〒360-8543	埼玉県熊谷市御稜ヶ原284-11
浜松工場	〒433-8520	静岡県浜松市中区小豆餅4-14-1
豊橋工場	〒441-3153	愛知県豊橋市二川町字東向山80番地
テクニカルセンター	〒441-3114	愛知県豊橋市三弥町中原1-2

当社営業所		
名称	所在地	
関東営業所	〒164-0011	東京都中野区中央1-38-1
浜松営業所	〒433-8520	静岡県浜松市中区小豆餅4-14-1
大阪/関西営業所	〒564-0062	大阪府吹田市垂水町3-23-26
厚木営業所	〒243-0014	神奈川県厚木市旭町5-43-14
栃木営業所	〒321-0215	栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
名古屋営業所	〒446-0054	愛知県安城市三河安城本町2-11-7
熊本営業所	〒869-0521	熊本県宇城市松橋町浦川内36

子会社		
名称	所在地	
(株)アーレスティ栃木	〒321-0215	栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
(株)アーレスティ熊本	〒869-0521	熊本県宇城市松橋町浦川内36
(株)アーレスティ山形	〒992-0832	山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥乙65
(株)アーレスティ ダイモールド浜松	〒431-1104	静岡県浜松市西区桜台5-3-10
アーレスティ ウイلمントンCORP.	2627 S.South Street, Wilmington, Ohio 45177, U.S.A.	
広州阿雷斯提汽車 配件有限公司	中華人民共和国広東省広州経済技術開発区永和経済区新豊路7号	
アーレスティメヒカーナ S.A. de C.V	Calle Industria Automotriz #20 Complejo de Naves Industriales la Zacatecana Guadalupe, Zacatecas C.P.98600, Mexico, D.F.	
アーレスティインディア Private Limited	Plot No. 194, Sector 4, Growth Centre Bawal, Dist. Rewari, Haryana PIN 123401, India	

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.ahresty.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。



当社ホームページ
<http://www.ahresty.co.jp/>

当社ホームページの「IR情報」では、株主の皆様様に最新情報をお届けしております。あわせてご覧ください。

Research Service Technology

株式会社 アーレスティ

〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル11F
TEL.03-5332-6001 FAX.03-5332-6037
URL. <http://www.ahresty.co.jp>



ISO14001:2004認証取得

本社、浜松工場、東松山工場、
熊谷工場、豊橋工場、
テクニカルセンター、
株式会社アーレスティ栃木、
株式会社アーレスティ熊本、
株式会社アーレスティ山形



ISO9001:2000認証取得

JUSE-RA-053
本社(但し、商品営業部を除く)、
浜松工場(但し、海外支控室を除く)、東松山工場、
豊橋工場、熊谷工場、技術部、
株式会社アーレスティ栃木、
株式会社アーレスティ熊本、
株式会社アーレスティ山形
JUSE-RA-057
商品営業部及び関連組織

